



2017年4月24日

鹿児島県との『がん対策推進企業等連携協定』の締結

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：高橋 薫）は、鹿児島県が掲げる「鹿児島県がん対策推進計画」の取組みに貢献するため、鹿児島県（知事：三反園 訓）と『がん対策推進企業等連携協定』を本日締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- 鹿児島県では、がん対策推進計画に基づき、がんの早期発見をはじめとした取組を推進することにより、県民の健康的な生活の実現を目指しています。
- 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、健康応援企業への変革を目指し、“お客さまと保険”という関係性の枠を越え、健康サービスブランド「（リンククロス）」を通じて、県民の皆様の一層の健康増進と地域活性化に貢献するため、このたび鹿児島県との協定に至ったものです。

2. 協定の目的

鹿児島県と損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は互いに緊密な連携と協力をするにより、県民の健康的な生活の実現を図ることを目的とします。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の強みや特徴が活かせる分野において連携を行い、以下のような業務・活動で連携します。

- 顧客窓口におけるパンフレット等の配布やポスターの掲示等によるがん検診の受診勧奨
- 無料で利用できる健康サービスアプリ「Linkx siru（リンククロス シル）」でのがんに関する情報の配信
- メディポリス国際陽子線治療センターとの「直接支払制度」によるがん治療を受けられる方へのQOL*向上支援 ※QOL (Quality Of Life) : 生活の質
- 従業員・家族に対するがん検診の受診勧奨
- 従業員・家族に対するがん検診情報の提供
- その他、がんに関する正しい知識の普及に関する積極的な取組み

4. 今後について

当社は、今後も「健康応援企業」への変革を目指し、地方自治体と連携しながら、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上